

Annual Report 2022

PHD

事業報告 **2022**
公益財団法人
PHD協会 2022.4 - 2023.3



事業報告 2022

公益財団法人
PHD協会 2022.4 - 2023.3

2022年度
PHD協会
事業報告

研修
居住支援
広報・啓発
組織運営

P.2-6
P.7-8
P.9-13
P.14-15



Annual Report 2022

理事長挨拶

理事長 水野 雄二



いつもPHD協会へのご声援に感謝申し上げます。2022年度はすさまじいオミクロン株流行で苦心の活動が続きましたが、PHD協会はようやく海外からの研修生を迎えました。ミャンマーからは依然として困難でしたが、インドネシアとネパールから熱意ある若者2名をお招きし、実りある研修の時を過ごすことができました。3月には帰国報告会も終え、母国での新しい歩みが始まっています。また、ウクライナからの避難民の方々の居住支援は予想しない形でPHD協会のポテンシャルが活かされた機会となりましたし、「みんなのいえ」も困難に直面する在住外国人を支援することができました。

2023年度はコロナ禍も新しい局面を迎え、念願のミャンマーから、そしてインドネシアからの研修生を招聘しています。今後も私たちにできる「平和への働き」を更に強めていきます。これからの歩みにも更なるご支援をよろしくお願い申し上げます。

事務局報告

主任主事 坂西 卓郎



2022年度は3年ぶりに研修生を招聘することができました。インドネシア、ネパールからそれぞれ2年間待ってれていた研修生が念願の来日となりました。コロナ禍の中での研修事業は苦労の連続ではありましたが、皆様にお支えいただき、無事に一年間の研修を終えることができました。この場をお借りして感謝申し上げます。

国内での困窮外国人支援事業については、ウクライナ避難民の方達への支援が大きなウェイトを占めました。兵庫県内には2022年度末で111名が避難してきており、当会も「KOBEOウクライナ避難民支援ネットワーク」のメンバーとして官民連携での支援を実施させていただきました。

今後も研修事業を軸としつつ、国際協力・交流シェアハウス「みんなのいえ」を通じた居住支援事業を行っていききたいと思います。引き続き当会へのご参加、ご支援をどうぞよろしくお願い申し上げます。

PHD Annual Report 2022 研修

2022年度PHD研修生の活動を報告します。

第38期研修生

3年ぶりにネパールとインドネシアから2名の研修生を招聘しました。コロナ禍以降は初となる研修生招聘でしたので、感染症対策に注力しながらの研修となりましたが、幸いにして研修生の周辺で新型コロナウイルス感染症が発生することがなく一年を終えることができました。受入れていただいた皆さまに改めて感謝申し上げます。

ネパールからの研修生アシカさんは、カースト制度の中では最も低い身分とされる「ダリット」として3人目の研修生となります。日本では、教育、保育、保健衛生、人権を中心に学びました。

インドネシアからの研修生ブディさんは、牛肥育を主として研修を行いました。ブディさんは母国で畜産大学を出ており、その専門性を更に伸ばし、現地での収入向上に寄与することがテーマでした。

それぞれ専門の研修に加え、草の根交流として、多くの人との交流の中から学びを得ることができました。

共通研修

4月～5月

日本語研修（神戸YMCA学院専門学校／神戸市）

日本語研修（日本語ボランティア／神戸市）

日本語研修（日本語教育センター KaiNGO／神戸市）

6月

口腔衛生研修（浜地律知さん／神戸市）

8月

口腔衛生研修（浜地律知さん／神戸市）

11月

口腔衛生研修（浜地律知さん／神戸市）

12月

口腔衛生研修（浜地律知さん／神戸市）

2023年

1月

協同組合研修（生活協同組合コープこうべ、コープ志染店、協同学苑、エコファーム／三木市）

口腔衛生研修（浜地律知さん／神戸市）

行動計画作成研修（PHD協会／神戸市）

2月

人権研修（部落解放同盟兵庫県連合会／神戸市）

社会学習（淡路島モンキーセンター／洲本市）

口腔衛生研修（浜地律知さん、渡辺裕子さん／神戸市）



来日直後の日本語研修
（神戸YMCA学院専門学校）



食品の見学をする研修生
（コープこうべ）



共存について学ぶ研修生
（淡路島モンキーセンター）

失礼ながら研修先の団体様につきまして、敬称を省略させていただきました。

セティア ブディマン さん

(インドネシア・26歳)

研修テーマ：畜産(牛・鶏)、農業

推薦団体：PHDインドネシア



豊岡市 / 谷口牧場にて

4月～2023年3月 滞在 / シェアハウス「みんなのいえ」

6月

酪農・農業研修(有畜複合経営 / 中野宗嗣さん / 丹波市春日町)

7月

畜産講話(牛繁殖・肥育・販売 / 田中畜産 / 丹波篠山市)

畜産研修(牛繁殖 / 谷口牧場 / 豊岡市)

畜産・農業研修(牛飼料・堆肥・ボカシ肥料 / 真柴三幸さん / 佐用郡佐用町)

8月

畜産講話(牛繁殖・肥育・販売 / 木村牧場 / 丹波篠山市)

9月

現場見学(牛繁殖・肥育・販売 / 上田畜産 / 美方郡香美町)

養鶏・農業研修(養鶏・有機農業 / 橋本慎司さん / 丹波市市島町)

10月

畜産研修(牛繁殖 / 谷口牧場 / 豊岡市)

11月

酪農研修(サイロ / 中野宗嗣さん / 丹波市春日町)

現場見学(牛繁殖・肥育 / 木村牧場 / 丹波篠山市)

12月

地域活性化研修(地域活性化・起業 / 納堂邦弘さん / 愛媛県喜多郡内子町)

畜産研修(牛肥育 / 力石牧場 / 愛媛県喜多郡内子町)(牛肥育 / JA 愛媛たいき畜産センター / 愛媛県大洲市)

農業研修(果樹栽培 / 今里拓哉さん / 愛媛県今治市)

地域活性化研修(地域活性化 / 今里拓哉さん / 愛媛県今治市)

2023年

2月

畜産研修(牛繁殖・肥育・販売 / 木村牧場 / 丹波篠山市)

畜産研修(牛繁殖・肥育 / 西播磨県民局光都農業改良普及センター / 赤穂郡上郡町)

酪農研修(酪農 / ハイクオリティミルク農業協同組合林牧場 / 佐用郡佐用町)

畜産研修(牛肥育 / 真柴三幸さん / 佐用郡佐用町)

畜産研修(牛繁殖 / 谷口牧場 / 豊岡市)

畜産研修(牛肥育 / 県立但馬農業高等学校 / 養父市)

畜産研修(食肉 / 但馬食肉センター / 朝来市)

畜産研修(牛繁殖 / 県立農林水産技術総合センター / 加西市)

協同組合研修(協同組合 / 協同学苑 / 三木市)

アシカ・チャルマカール さん

(ネパール・24歳)

研修テーマ：障がい者福祉、助産、保健、教育、女性の人権

推薦団体：SamaSewaSamuha



加古川市 / ゆき保育園にて



三木市 / 三木市総合保健福祉センターにて

4月～2023年3月 滞在 / シェアハウス「みんなのいえ」、
杉浦 和美さん

6月

保育研修(はらっぱ保育所 / 西宮市)

7月

保育研修(友愛幼稚園 / 神戸市)

保育研修(ゆき保育園 / 加古川市)

8月

社会福祉研修(新生会つとポート / 西宮市)

9月

社会福祉研修(放課後等デイサービス コゲラ / 西宮市)

10月

社会福祉研修(アメニティホームルピナス高砂 / 高砂市)

初等教育研修(石屋小学校 / 淡路市)

11月

初等教育研修(阿弥陀小学校 / 高砂市)

12月

社会福祉研修(ステップハウス / 高砂市)

2023年

1月

保健衛生研修(三木市総合保健福祉センター / 三木市)

2022年度研修旅行

東日本研修旅行 2022年11月20日～21日

東京都 / 全日本自動車産業労働組合総連合会、日本ユニセフ協会、ロータリー米山記念奨学会、日本労働組合総連合会



公益財団法人日本ユニセフ協会にて



日本労働組合総連合会にて

西日本研修旅行 1月17日～19日、2月8日～12日、2月22日～25日

愛媛県 / えひめグローバルネットワーク、力石牧場、道の駅小田の郷せせらぎ、納堂邦弘さん、道の駅内子フレッシュパークからり

鹿児島県 / かごしま有機生産組合、地球畑

熊本県 / 水俣市立水俣病資料館、水俣病センター相思社、ほっとはうす、きぼう・未来・水俣、国立水俣病総合研究センター

福岡県 / 祝町小学校、アジアを考える会・北九州、北九州市環境ミュージアム

大分県 / 別府市竹細工伝統工芸館

山口県 / 岩国みなみワイズメンズクラブ

広島県 / 広島平和記念資料館、一秦治さん、袋町小学校平和資料館、原爆ドーム、平和記念公園

<敬称略>



大分県 / 竹細工竹林にて



福岡県 / 北九州市環境ミュージアム



広島県 / 原爆ドーム前にて



山口県 / 岩国錦帯橋にて

アクションプラン（活動計画）

個別研修と共通研修を終えた後、38期研修生2名は帰国後を見据えたアクションプラン（活動計画）作りに取り組みました。次の図は研修生の出身地域での課題分析と活動目的との因果関係を視覚化したものです。日本での専門研修と共通研修で得た様々な学びと気づきが盛り込まれており、この計画は研修生自らが地域で活動していく上での指針となります。



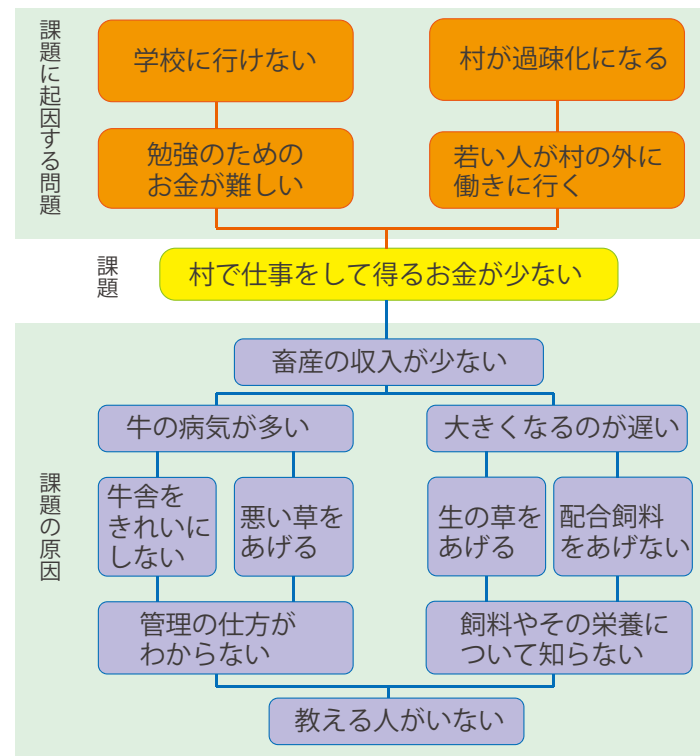
ブディさんの
アクションプラン



「若者が村で暮らせる仕事を作りたい」

ブディさんの懸念は地域の過疎化です。帰国後は、畜産での収入を増やすことで、少しでも多くの若者が村に留まることができるように働きかけたいと考えています。牛舎の衛生管理、乾燥させた草や藁、配合飼料などの写真を使って村人たちに説明するだけでなく、ワークショップ形式でこれまで自分たちがやってきた方法と、新しい方法とを体験して何が違って、どのような利点があるのか学べるようにする予定です。

タベ村の問題系図



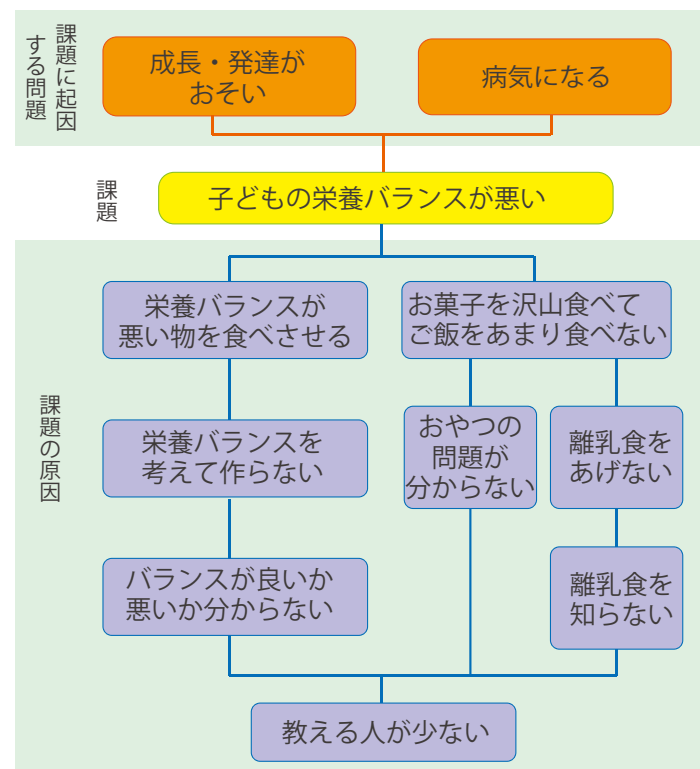
アシカさんの
アクションプラン



「栄養バランスの良い食事子どもたちを健康に」

アシカさんの村では、子どもたちの食事の栄養バランスが良くなく、離乳食を食べることがあまりないことから、子どもたちの成長や発達が遅い、病気になるなどの課題があります。帰国後は、お母さんたちに栄養バランスや栄養と病気・成長との関係について伝え、お母さんたちが皆で作業や意見交換をしながら、学び、発見してもらえるようなプログラムを実施する予定です。

マイダン村の問題系図



短期研修生

2023年2月6日～3月2日
インドネシア・タベ村
イエニムラ（通称エラ）さん



JICA草の根技術協力事業「小規模農家の生計向上のための牛肥育に関する知識・技術の研修」の一環として、インドネシア・タベ村経済事業総合協同組合の組合長エラさんを招聘しました。牛肥育の現場や牛の競り市、道の駅視察など充実した研修となり、エラ組合長も「人生でこんな経験は二度とできないでしょう」と感謝を述べて帰国されました。



愛媛県 / 力石牧場にて

選考・フォローアップ・調査

コロナ禍の中でしたが、3年ぶりにインドネシアを訪問し、帰国した研修生のフォローアップと研修生選考を行いました。

研修生フォローアップはPHDレター 151号にて報告させていただきましたが、コロナ禍の中、それぞれが懸命に日々の生活を営んでいました。研修生選考では、地域からの総意で医療の充実がニーズとして挙げられ、村出身としては初の助産師であるアギーさんが選出されました。村でのクリニック建設など、地域医療の充実を目指します。

他方、ネパール、ミャンマーではフォローアップができませんでした。2023年度には訪問できればと考えています。



2023 年度研修生の選考の様子

訪問国	日程
インドネシア	2022/9/30～10/7



インドネシアの元 PHD 研修生の皆さん



帰国した研修生へのインタビュー

第39期研修生の選考と結果

ミャンマー、インドネシアの2カ国で第39期研修生の選考を実施しました。2023年度も2名が研修生として来日することとなりました。

インドネシア・西スマトラ州ソロ郡

応募者の出身地域	タベ村
選考結果	 アギー・ラミダ・プットリ さん (24歳)

ミャンマー・マンダレー県

応募者の出身地域	ロンドンウィン
選考結果	 チェリー さん (40歳)



国際協力・交流シェアハウス



国際協力・交流シェアハウス「みんなのいえ」は、困窮する外国人の方や難民申請者の方のための一時的な居住スペースです。

居住者内訳	滞在期間	滞在日数	出身国
	5月13日～8月7日	87日	ミャンマー
	5月30日～2023年3月31日	306日	ミャンマー
	6月23日～6月27日	5日	中国（ウイグル）
	8月7日～11月9日	95日	インドネシア
	9月10日～9月30日	21日	インドネシア
	12月20日～2023年1月10日	22日	ベトナム
合計		536日	6人

シェアハウス入居者以外の居住支援

シェアハウス入居者以外への居住支援としては22名から相談を受け、情報提供や不動産屋の紹介など行いました。加えて、シェアハウス居住者1名については他団体が運営するより長期的滞在を想定した滞在施設（二宮フラット）への転居を支援しました。

国籍の内訳

フィリピン	インドネシア	ミャンマー	ウクライナ	インド	ウズベキスタン	リトアニア
8名	4名	4名	2名	2名	1名	1名

在留資格の内訳

技能実習	定住者	国外	永住者	留学	不明
4名	4名	3名	2名	1名	8名

相談支援・同行支援、日本語教室

就労と居住に関する相談を除いた生活に関する相談も122名から受け、47件の同行支援を含む延べ423件の相談対応支援を行いました。

<具体的な支援内容>

引越手伝い・家具設置、転入手続き等のための役所同行、病院・歯科医院での診察同行、幼稚園への入園支援、コープこうべへのコピーカード申請同行、給付金やコロナワクチン予防接種の申請サポート、日本語教室など多団体が実施する活動の紹介等

国籍の内訳

ウクライナ	インドネシア	ミャンマー	ベトナム	中国（ウイグル）	ウズベキスタン
69名	19名	19名	3名	2名	2名
ネパール	ペルー	バングラデシュ	フィリピン	ブラジル	不明
2名	2名	1名	1名	1名	1名

在留資格の内訳

特定活動	留学	定住	特定活動（仮放免）	技能実習
72名	20名	18名	2名	2名
短期滞在	技術・人文・国際業務	家族滞在	国外	不明
2名	1名	1名	1名	3名

食料支援

2022年度はフードバンク関西様、コープこうべ様から定期的に食料のご支援をいただきました。これに加えてPHD協会のサポーターからも食料や生活物資の提供を受けて、合計126名に対して延べ521件の食料・生活物資支援を行いました。また、六甲アイランド基金の助成金を利用した買い物への同行を伴った購入支援も行いました。

国籍の内訳

ウクライナ	ミャンマー	インドネシア	ネパール	ベトナム
69名	28名	16名	3名	3名
ウズベキスタン	ペルー	バングラデシュ	中国（ウイグル）	
2名	2名	1名	1名	

在留資格の内訳

特定活動	留学	定住	技能実習	特定活動（仮放免）	技術・人文・国際業務
72名	34名	14名	2名	2名	1名



左写真/
食料品を配給する様子



右写真/
ウクライナ避難民の買い物
同行の様子



就労支援

<登録支援機関としての就労支援>

2022年度は3名に対して特定技能「介護」での就労支援を行いました。

- ・株式会社メロディ（尼崎市）／ミャンマー人女性
- ・社会福祉法人いたみ杉の子（伊丹市）／メキシコ人男性
- ・株式会社 Pack's（神戸市）／フィリピン人女性



左写真/
スーパーで食品加工の仕事
をする様子



右写真/
介護施設でオリエンテーシ
ョンを受ける様子

<ウクライナ避難民などに対する就労支援>

ウクライナからの避難民に対して、マッチングや面接同行などを含む積極的な就労支援を実施しました。コープこうべなど以前よりPHDと協力関係にあった企業に加えて、支援団体や神戸商工会議所から紹介を受けた企業に紹介するなどして15名が長期的な雇用先を見つけました。加えてこのうち2名の方については、コープこうべが実施する3日間の日払いの仕事（コロナ支援物資の梱包作業）を紹介。15名のうち12名がウクライナからの避難民（在留資格はすべて特定活動）で、残り3名の国籍はミャンマー、ウズベキスタン、ガーナ、在留資格の内訳は特定活動が2名で留学が1名でした。



2022年5月25日 神戸新聞
ウクライナからの避難民へ就労支援を実施



講演・交流会

2022年度も各地で講義・講演会を行い、2,848名の方にご参加いただきました。

<講演・交流先>

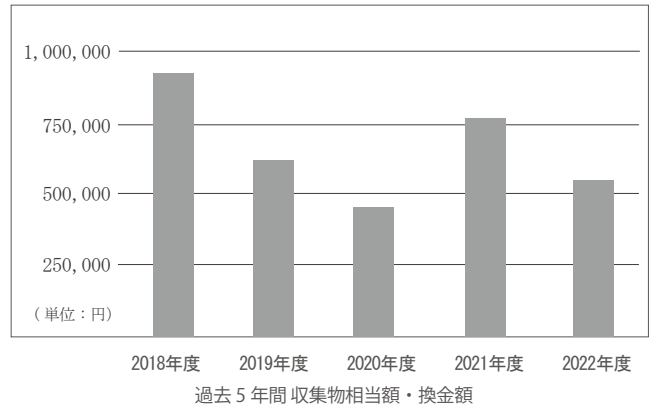
神戸親和女子大学、甲南女子大学、HYOGON新春フォーラム、兵庫県立大学大学院、加東市国際交流協会、明石清水高校、神戸市シルバーカレッジ、プラスワン、兵庫県いなみ野学園、神戸学院大学、阪神シニアカレッジ、加東市連合婦人会、長田区外国人版トライアルウィーク、とよなか国際交流協会、多言語センターFACIL、兵庫県立大学、関西学院大学、「グローバル・ソーシャルワークによる多文化地域共生社会の構築」研究グループ講演、県立兵庫高校、明石城西高等学校、国際高等学校、神戸YMCA学院、高砂市立阿弥陀小学校、大阪信愛学院、JSURPオンライン相談会、地域で暮らす「外国人」を支えるということ講演会、ひょうご市民活動協議会、OneWorldFestivalforYouth、NGO神戸外国人救援ネット譲渡会、コープこうべ第一地区総代研修会、HYOGON賀詞交歓会、篠山ナマステ会、ひょうご国際交流団体連絡協議会東播磨地域、西播磨地域、但馬地域、丹波・阪神地域意見交換会、神戸フイズメンズクラブ、篠山ロータリークラブ、ガールスカウト市協議会・講座講演、コープこうべ三田西レインボースクール、東灘ロータリークラブ、豊岡総合高校、KSC国際交流友の会、ひょうご国際交流団体連絡協議会、奈良育英高等学校

<敬称略>

書き損じハガキ等の収集

2022年度にご寄付いただいた収集物の換金・相当額は50万を超えました。

収集物の相当額・換金額集計（単位：円）	
書き損じ及び未使用ハガキ	176,857
未使用切手	96,043
外貨コイン・使用済み切手	138,500
未使用テレホンカード	31,700
外貨紙幣	115,016
合計	558,116



ボランティアとの協働

PHD協会の活動に、一年を通じて105名の方々がボランティアとして関わってくださいました。

ボランティア参加者数（単位：人）	
事務所作業補助	25
会報発送作業	3
通訳	5
日本語復習	67
その他	5
合計	105

会員数

会員数は下記の通り、終身維持会員、友の会会員、法人会員を含めて724人となりました。継続したご支援、新たな方からのご支援をいただけるよう、様々な媒体、方法を駆使して広報活動を展開していきます。

	新規会員数 (実績)	2022年度末 現在の会員数	昨年度末から 増減
終身維持会員	2人	208人	-7人
PHD会員	2人	357人	-166人
友の会会員	9人	136人	-103人
法人会員	1団体	6団体	+1団体
マンスリーサポーター	5人	17人	+5人
合計	18人 1団体	718人 6団体	-271人 +1団体

※会員数の大幅減となっていますが、システム上の整理を行った結果です。

法人会員の団体様



他1団体（匿名希望）

他団体との協働

他の国際協力・交流団体等との共催行事の実施、運営参加を通して、協働および情報交換を行いました。また、イベント等にも参加し、PHDの活動を幅広く紹介しました。

<共催・参加イベント>

- 4月 六甲ウィメンズハウスWS/会議、HYOGON運営委員会/総会、2021年度NJ協議会NGO正会員の集い、KOBエウクライナ避難民支援ネットワーク会議、ウクライナ避難民支援団体情報交換会、2022学年度ロータリー米山記念奨学生オリエンテーション、外国人版トライやるウィーク実行委員会、ウクライナIT協会・神戸市共催ウクライナITセミナー、NGO Lunch Talk、日本財団ウクライナ避難民支援・説明会兼勉強会「ウクライナからの避難民の支援をみんなで考えませんか!」、2022年度第1回NGO-JICA勉強会「ウクライナ支援：最新動向と連携可能性」、NGO神戸外国人救援ネット運営委員会
- 5月 外務省主催NGOインターンプログラム説明会、神戸YMCA大会実行委員会、HYOMIC運営委員会、コープこうべウクライナ避難民支援協議、関西NGO協議会総会、KOBエウクライナ避難民支援ネットワーク会議、米山奨学生学友交流研修会、葺合高校せかいこどもフェス、コープともしびボランティア振興財団理事会、大阪YMCA評議員会
- 6月 神戸YMCA会員総会実行委員会、ウクライナ救援募金活動、市民活動センター神戸総会、神戸YMCA国際委員会、JANIC総会、コープともしびボランティア振興財団理事会、外務省NGO相談員連絡会議、GONGO相談員会議、公益法人NGO連絡会、神戸市シルバーカレッジジョイラックデー
- 7月 KOBエウクライナ避難民支援ネットワーク・メンタルヘルス勉強会、篠山ロータリークラブ例会、シャプラニール創立50周年記念シンポジウム、プラスONEネット料理会、NGO・外務省定期協議会、中央共同募金交流会、草の根技術協力事業・NGO等提案型プログラム・JICA基金活用事業実施団体会議、ワークショップ難民2022、NGOの放課後、兵庫県ユニセフ協会設立20周年記念講演会
- 8月 第19回「多文化共生のための国際理解教育・開発教育セミナー」、加東市国際交流協会 畑×多文化共生イベント
- 9月 市民社会におけるコミュニケーションのあり方を考えるフォーラム、日本で暮らすアフガニスタンからの避難者の実情にせまる、神戸商工会議所就労支援相談、三田市就労支援セミナー、ミャンマー米山学友会総会、NGO-JICA協議会、コープこうべフードドライブ譲渡会
- 10月 長田区外国人版トライやるウィーク評価会、国際協力から多文化共生へ～世界とつながるってどういうこと？～、えひめグローバルネットワーク協議
- 11月 ひょうご・みんなで支え合い基金運営委員会、三田市国際交流協会座談会、「寄付規制法案(仮称)」を考える、DANCEBOXウクライナ・バレエ団コンサート、全日本自動車産業労働組合総連合会寄贈式、加東市国際交流協会日本語スピーチコンテスト
- 12月 JP-MIRAI事業学習会、神戸YMCA街頭募金活動、セミナー「わたしたちの難民問題2022 vol.23」、ウクライナ避難民向けの法律相談、CINGA協議、NGO神戸外国人救援ネット譲渡会、OneWorldFestivalforYouth
- 1月 「難民と神戸」を学ぶ講演とまちあるき～神戸のベトナム難民～、JANIC会員交流会、日本からミャンマーに祈りを届ける集会、仮想通貨：支援の現場への活用事例と展望
- 2月 ひょうご市民活動応援基金選考委員会
- 3月 2022-23年度地区大会「ロータリーファミリーの集い」、神戸東灘ロータリークラブ例会、NGO・外務省定期協議会2022年度「第3回連携推進委員会」

<敬称略>

<他団体への運営協力>

学校法人大阪YMCA 評議員
コープともしびボランティア振興財団 理事
神戸NGO協議会 代表
神戸YMCA 評議員・国際委員
兵庫・国際協力同士の会(HYOMIC) 幹事
ひょうご市民活動応援基金 審査委員長
ひょうご市民活動協議会(HYOGON) 代表
兵庫ユニセフ協会 評議員
多文化共生のための国際理解教育・開発セミナー 運営委員
ワンワールドフェスティバルForYouth 監事
NPO法人NGO神戸外国人救援ネット 理事
NPO法人関西NGO協議会 選挙管理委員



長田区外国人版トライやるウィーク修了証授与式にて

広報物



事業報告 2021



会報 150号



会報 151号



会報 152号



会員募集チラシ



カレンダー



パネル



研修生チラシ



JICA 事業



YouTube (過去の研修生動画)

メディア活動

PHD の活動について幅広く情報発信し、メディアの特性に合わせた広報・啓発活動を展開しました。

SNS

Facebook、Instagram、YouTube、Twitter

新聞

神戸新聞 (14 回)、神戸新聞こども新聞、朝日新聞、読売新聞

他団体会報、マスコミ出演等

部落問題研究所 No.966、ひょうごの福祉 No.843、自治体国際化フォーラム vol.394、きずな 2022 年 7 月号、OurStory2022 年 5 月号、NHK ビブラブ兵庫、NHKnewsWEB

<敬称略>

SNS フォロワー数 (単位: アカウント)		2023年3月31日現在
Facebook (いいね)		2,422
Instagram (フォロワー)		1,011
Twitter (フォロワー)		481
Youtube (チャンネル登録者)		72



2022 年 8 月自治体国際化フォーラム vol.394



2022 年 9 月ひょうごの福祉 no843



2022 年 7 月きずな



2022 年 4 月 23 日 神戸新聞



2022 年 5 月 7 日 神戸新聞



2022 年 7 月 13 日 神戸新聞



2022 年 8 月 3 日 神戸新聞



2022 年 8 月 24 日 読売新聞



2022 年 9 月 7 日 神戸新聞



2022 年 8 月 30 日 神戸新聞



2023 年 2 月 5 日 朝日新聞宮城版



2022 年 10 月 14 日 毎日新聞

第23期国内研修生

国内における人材育成を目的として、2022年度は国内研修生を1名受け入れました。



結城花菜さん
(20歳/大学生)

活動期間

2022年4月1日～2023年3月31日

活動内容

研修同行、居住支援の同行、助成金事業の申請・管理・報告、
日本語学習指導、イベント企画運営



HYOMIC「十人十色の国際協力」にて
活動報告をする結城さん

2022年度多文化共生インターン

国内での海外ルーツ人材育成を目的として、2022年度は多文化共生インターンを2名受け入れました。



イタンダーミョーさん
(28歳/専門学生/ミャンマー出身)

活動内容

外国人当事者への相談対応、就労支援、通訳・翻訳業務



グエンティテウ ハーさん
(26歳/大学生/ベトナム出身)

活動内容

外国人当事者への相談対応、就労支援、通訳・翻訳業務、研修同行



2022年度外務省委嘱NGO相談員

NGO相談員は、国際協力分野で経験と実績をもつ日本のNGOが外務省の委嘱により「相談員」となり、国際協力活動、NGOの設立、組織の管理・運営など市民やNGO関係者からの質問・照会に応える事業です。

相談員業務の実績は以下の通りです。相談対応及び、出張対応については、対面とオンラインの両方で実施し、相談や講演の内容も国際協力と多文化共生の両分野で積極的に受け付けました。また、年2回の相談員連絡会議にも出席しました。

相談件数	689件（月平均57件、目標達成率115%）
出張サービス	16件（目標達成率107%）
Facebookリーチ数	1,290,430件（目標達成率129%）



Summer SDGs Festival for Youthにて



いなみの学園にて



相談員連絡会沖縄にて

組織運営



2022年度決算

正味財産増減計算書

自2022年度4月1日・至2023年度3月31日（単位：円）			
経営収入		経常支出	
科目	決算額	科目	決算額
基本財産運用収入	5,607,528	研修事業費	15,935,862
特定資産運用収入	699,609	啓発事業費	28,230,673
事業収入	13,151,050	管理費	7,436,811
寄付収入	12,063,414		
会費収入	2,576,000		
助成金・補助金収入	9,580,174		
受取利息・配当金	166		
災害救援寄付金収入	0		
雑収入	1,309,137		
経常収益計	44,987,078	経常費用計	51,603,346

貸借対照表 2023年3月31日現在（単位：円）

資産の部		負債・正味財産の部	
科目	金額	科目	金額
流動資産	10,977,515	流動負債	2,166,086
固定資産	348,140,973	固定負債	4,531,715
（うち基本財産として）	269,817,026	正味財産	352,420,687
資産合計	359,118,488	負債及び正味財産合計	359,118,488

役員（2023.6.～）

理事会

理事長 水野 雄二	(社福)神戸聖隷福祉事業団 理事長
理事 尾上 尚司	(公財)ひょうご子どもと家庭福祉財団 常務理事
理事 垣内 正雄	神戸市市長室 国際部長
理事 門野 隆弘	(株)サンテレビジョン 代表取締役社長
理事 小林 拓哉	兵庫県産業労働部 次長兼国際局長
理事 坂西 卓郎	公益財団法人PHD協会 主任主事
理事 滝澤 功治	神戸海都法律事務所 弁護士
理事 丸尾 研一	(株)エムエスケイ 代表取締役
理事 吉井 久美子	(有)環境科学研究所 代表取締役
監事 飯田 健一	飯田会計事務所 公認会計士/税理士
監事 冬頭 佐智子	生活協同組合コープこうべ 地域活動推進部 統括部長

顧問

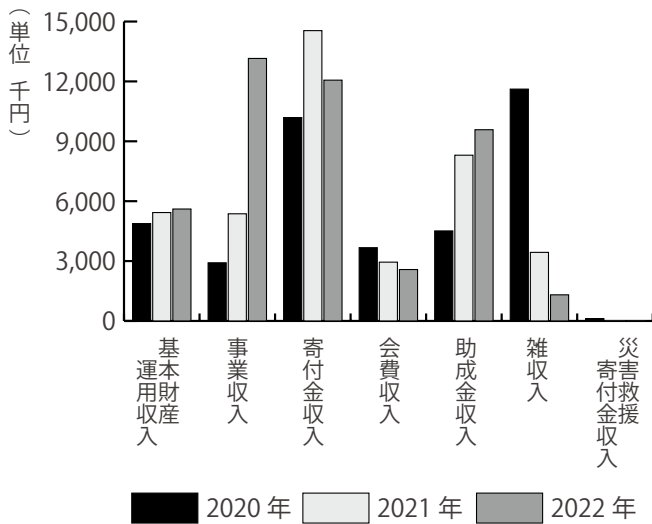
顧問 橋本 一豊

(株)神戸マツダ 代表取締役会長

評議員会

井上 真二	(公財)神戸YMCA 総主事
岩坂 二規	関西学院大学大学院 教育学研究科 准教授
寒者 恵	三木市元職員 保健師/保健衛生指導者
寺田 正文	てらだ農園 農業指導者
納堂 邦弘	ミカタスイッチ(株) 代表取締役/元PHD協会職員
秦 紳一郎	元米山記念奨学委員長
榛木 恵子	(社福)聖和共働福祉会 理事長
宮田 泰子	(公財)神戸YWCA 理事

過去3年間収入比較



運営協力委員

青島 一路	兵庫県連合自治会
伊勢田 佳博	(一社)兵庫県信用組合協会
一幅 孝明	兵庫県町村会
大家 重明	兵庫県青年洋上大学同窓会
大西 巧	(一社)兵庫県信用金庫協会
川本 竜司	JOCV近畿地区兵庫県OB会
神吉 泰彦	高砂にPHD研修生を迎える会
喜多野 章夫	喜多野診療所
小山 光一	兵庫県小学校長会
小山 優	(株)神戸新聞社
佐々木 祐二	兵庫県中学校長会
塩谷 元宏	兵庫県森林組合連合会
志摩 直樹	兵庫県立学校長協会
白崎 大介	神戸キワニスクラブ
杉田 健治	(社福)兵庫県社会福祉協議会
高田 琴恵	国際ソロプチミスト神戸
高藤 真理	元大学教員、歯科衛生士、歯科衛生指導者
高松 智美	(一社)兵庫県歯科医師会
都出 千尋	(一社)兵庫県医師会
突々 淳	兵庫県漁業協同組合連合会
友藤 富士子	兵庫県連合婦人会
猶原 信男	ミャンマー関西
中井 弘慈	(一社)兵庫県私学総連合会
西村 早百合	GroupTaytay
平岡 靖敏	神戸商工会議所
南 喜樹	(一社)神戸銀行協会
明星 頼子	(一社)ガールスカウト兵庫県連盟
本山 秀治	(公財)兵庫県老人クラブ連合会
森口 育子	兵庫県立大学
山崎 美和子	(一社)兵庫県薬剤師会

助成金・受託事業

公益信託 アジア・コミュニティ・トラスト特別基金「アジア留学生等支援基金」 アジア留学生インターン受入れ助成プログラム

アジアからの留学生が日本の民間非営利組織にてインターンシップを行い母国の社会開発事業等の発展に資することを目的として公募された本助成を受け、多文化共生インターンの受け入れと育成を行いました。

2022年度「NGO相談員制度」

外務省の委嘱を受け「NGO相談員」として、国際協力活動やNGOに関する市民やNGO関係者からの質問・照会に対応しました。また、国際協力への理解の促進のため、市民団体や教育機関と連携し、対面及びオンラインにて講演を実施しました。詳細はP.13「2022年度外務省委嘱NGO相談員」をご参照下さい。

2022年度「愛のキャンパ 中央助成」日本労働組合総連合会

人道主義の立場から「自由、平等、公正で平和な世界の実現」のため、NGOなどの事業の支援を目的としている本助成事業より、SDGs達成のためのPeace研修生育成とシェアハウスを通じた難民・困窮外国人支援事業へのご支援をいただきました。

中央共同募金会「第4回居場所を失った人への緊急活動応援助成」

赤い羽根新型コロナ感染下の福祉活動全国キャンペーンとして公募された本助成を受け、コロナ禍で困窮する外国人のための生活相談窓口の設置及び生活支援活動を実施しました。

神戸まちづくり六甲アイランド基金

本基金の助成を受け、困窮外国人のための居住支援及び食料支援を実施しました。

日本財団「ウクライナ避難民支援 助成プログラム」

地域におけるウクライナ避難民の受け入れ体制の整備を目的とする本助成を受け、兵庫県内のウクライナ避難民に対する生活相談支援とセーフティネット型日本語教室を実施しました。

受賞歴

- 1981 岩村先生、第1回ロータリー国際理解と平和賞受賞
- 1982 神戸新聞平和賞
- 1982 兵庫県社会賞
- 1988 国際交流基金、地域交流振興賞
- 1990 神戸国際交流賞
- 1991 毎日国際交流賞
- 1993 岩村先生、マグサイサイ賞受賞
- 1995 第4回環境水俣賞受賞
- 1996 外務大臣賞受賞
- 1997 今井理事長、兵庫県功労者表彰
- 2001 神戸新聞社社会賞
- 2011 井植文化賞
- 2013 かねのり賞
- 2014 神戸キワニスクラブ社会貢献賞
- 2022 第5回はなやか KANSAI 魅力アップアワード社会的効果部門特別賞

事務局・スタッフ（2023.4.～）

事務局



坂西 卓郎
事務局長



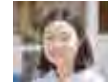
田村 華奈
居住支援・研修担当



濱 宏子
みんなのいえ施設長・研修担当



井上 遼香
広報・啓発担当



中村 朱里
総務・ファンドレイジング担当



三宅 茉依
総務・ファンドレイジング担当



古寺 瑞代
財務担当

ミャンマー現地スタッフ



モーママ
2013年度第31期生



サンティダエー
2015年度第33期生



ティダチョー（マーチョ）
2016年度第34期生

ネパール現地スタッフ



ウルミラ・ライ・ダヌワール
2010年度第28期生



ランマヤ・タマン
2012年度第30期生

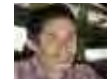


サビナ・ビスンケ・ラムテル
2018年度第36期生

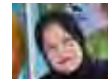
インドネシア現地スタッフ



ダスウィル
1999年度第17期生



アルウィ ファドリ
2001年度第19期生



ダルミアティス（ミミ）
2002年度第20期生



アフリタ
2004年度第22期生



マスラル アリゾン
2005年度第23期生



ダリスマン
2013年度第31期生



〒653-0836
神戸市長田区
神楽町3丁目7-4
TEL: 078-414-7750
FAX: 078-414-7611



PHD 協会の
各種 SNS は
こちらから
ご覧ください。



HP: <http://www.phd-kobe.org>